



# 南関町議会議長 立山秀喜

# 議員定数が10人に ～2月の町議会議員選挙から定数減

県内においても8月の豪雨では、玉名市、玉東町、八代町大きな被害が出ました。本町も災害復旧に對して職員数派遣されました。幸いにも本は、大きな被害はなく、心配した台風の被害もなかつたこと安堵されているかと存じます。



南関町長  
左藤安彦

# もっと・もっと住みやすい町に!

新年度にまじであります。この震災被害の発生など、災害の発生が当たり前のようになりますが、南関町においては、災害が少ない落ち着いた年であったように思います。しかし、災害は時期・時間に関係なく発生しますので、今後も気を緩めることなく、町民の皆様との防災に対する認識の共有を図り、更に減災に向けた取り組みを進めるとともに、コロナ禍からの6年ほどで私たちを取り巻く環境や経済状況も大きく変わっておりますので、引き続きの対策を図っていく必要があると考えております。国においては、日本で初めてとなる女性の高市総理が誕生し、連立与党の相手となる政党も公明党から日本維新の会に変わりましたが、中国との関係悪化が貿易や観光面にも影響しておりますので、今後も国民の生活を重視した地方創生等の取り組みを行っていただきたいと思います。そして、誰もが、どこに住んで

（略）も開館しました。また、同日には町政施行70周年記念式典を開催し、先達の残された功績を称えるとともに次の世代へ繋ぐこれからの南関町を考える良い機会と捉え、次の10年に向かう新しい流れとしたことになります。

また、10月16日には、Ukaraにおいて、全国からの参加者により「元気高齢者によるまちづくり実践研究会」in南関町が開催され、南関町の介護予防リーダーをはじめ約180名の皆さんにより「健康寿命日本」のまちづくり宣言」が行われ、大変盛り上がりました。

今後は、町としても検診体制や介護予防事業の更なる強化を図つていかなければならぬと考えております。

さて、町では、町実行委員会主催による「大陶器まつり」や「ふるさと関所まつり」のほかにも住民団体を応援する提案型助成事業やマルシ工開催事業への補助を令和4年度から実施しており、今年度もたくさん特色ある事業が実施され、町内外から多くの皆様に、「来場いただき、元気あふれる南関町になつてきていると感じておりますので、今後も、南関町のすばらしさを多くの皆様に

方のご理解とご協力を賜ります。  
ようよろしくお願ひいたします。  
令和6年度より設置している  
「南関町立学校の在り方検討委員会」では、町立学校のこれから  
の教育や少子化に対応した新たな学校規模などの学校の在り方  
についての協議をしていただいており、今年度内には検討委員会  
としての答申をいたたくこととしておりますので、その後に、町  
としての学校の在り方についての  
方向性を示していくことになる  
と考えております。  
町の企業誘致等の動きとしては、  
は、国の地方創生の動きを重視  
し、人口が減少しても稼げる、そ  
して、町民の皆様の幸福度が高  
まる町として、若者や女性にも  
選ばれるまちづくりに取り組ん  
でいかなければなりません。  
現在、町では製造業はもとよ  
り、衛星通信施設や新しいエネル  
ギー事業、データセンターの誘致  
など、大きな税収が見込める企  
業の誘致を進めるとともに、民  
間の活力で新しい工業団地整備  
も進んでおりますので、引き続き  
企業の立地・増設、雇用の場の確  
保に努めていきたいと考えおり  
ます。  
また、これまでの企業立地等の

町の大きな課題でもある人口減少と少子高齢化対策について、厳しい状況ではあります。しかし、町振興計画や地域未来構想により、「魅力づくり」、「住む場所づくり」、「拠点づくり」、「人づくり」の4点突破ですべての町民の皆様が安心して暮らせる協働のまちづくりを推進し、魅力があるより住みやすい町を目指して参ります。

私自身も、防災対策や定住対策、少子高齢化対策、働く場所の確保など、更に安全安心な暮らしがやすい町となるよう、トップセールスも含めて職員一丸となり全力で取り組んで参りますので、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、南関町の更なる発展と今年が皆様にとりまして良い年になることをご祈念申し上げます。

皆様、新年明けましておめでとうございます。町議会を代表し、新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には平素から町議会に対しまして、温かいご支援とご理解を賜り、議員一同厚くお礼を申し上げます。

また、昨年の南関町を振り返りますと、1月4日に「二十歳の集い」が催され、79人が二十歳を迎えた。旧友との再会では、記念撮影や思い出話にたくさんのが咲きました。1月11日には恒例の「消防出初め式」が行われ、防火・防災意識を高めました。3

トを導入したことでの、議会のデジタル化が進み、各種情報が共有化されるほか、ペーパーレス化で経費縮減にも寄与しております。

そのような新しい取り組みの中9月定例会において、議員定数条例の改正が可決され、議員定数が12人から10人となりました。

さて、本年2月には町長及び町議会議員の選挙が行われ、議員は10人となります。今まで以上に決意を新たに奉職している所存でございます。引き続き町議会へのご理解とご協力をお願いいたします。

「月1田と2田には」なんかん大隣  
「器まつり」が防災広場を中心に関  
催され、町内外から多数の来客  
が訪れ、まつりを楽しみました。  
10月8日には「町政施行70周年  
記念式典」が多くの町民及び来  
賓を迎え、盛大に執り行われま  
した。同時に南関町交流拠点施  
設「ukara」がグランドオー  
ブンし、図書館やカブリエを併設し  
た複合施設となりました。今後、  
町の交流拠点となり発展してい  
くことを期待しております。

また、11月には議員会館を訪れ、熊本県選出国会議員への要望活動を実施しました。要望の内容は、国道443号線の道路改良と進捗状況について、農業基盤整備における中山間地域に応じた施策を講じることを求めていました。

さらに、文教厚生常任委員会では、神奈川県寒川町へ視察研修し、教育、福祉、介護において先進的な施策を実行していることを学び、町への施策に反映させ

て、希望に満ちた輝かしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

議会におきましては、「開かれ  
た議会」の理念のもと、役場ごも  
れびホールでのテレビ中継に加え  
インターネットによる議会生中継  
および録画配信をスタートさせま  
した。さらに、議会定例会、全員  
協議会などにおいては、タブレッ

また、総務産業常任委員会では東京都国立市のまちと農業研究所TOKYOを視察し、本町の農業生産物販売と都会における農業関係者との違い及び高齢化、耕作放棄地などの課題等について研修を深めました。

議員副議長  
立山比呂志  
山口  
境田下井  
杉村中村  
西田矢野  
伊藤福山  
議會南關町議

町の大きな課題でもある人口減少と少子高齢化対策について、厳しい状況ではあります。しかし、町振興計画や地域未来構想により、「魅力づくり」、「住む場所づくり」、「拠点づくり」、「人づくり」の4点突破ですべての町民の皆様が安心して暮らせる協働のまちづくりを推進し、魅力があるより住みやすい町を目指して参ります。

私自身も、防災対策や定住対策、少子高齢化対策、働く場所の確保など、更に安全安心な暮らしがやすい町となるよう、トップセールスも含めて職員一丸となり全力で取り組んで参りますので、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、南関町の更なる発展と今年が皆様にとりまして良い年になることをご祈念申し上げます。

知つていただく機会としていた  
いと考へております。  
そのほかの事業としては、農村  
広場には本年3月完成予定で遊  
具を設置した芝生公園としての  
整備や旧役場・公民館の建物を  
解体して、民間活力を活用する  
PF-1事業での地域優良賃貸住

効果もあり、令和6年度の町税収入額が初めて14億円を超えて、昨年度に続き過去最高額を更新することができました。

関係企業や農業・商工業等に従事されているすべての関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、今後も、二輪で満足する二輪